

# あまみ

## 市議会だより

No.73  
2024.6



▲ 2月5日 能登半島地震義援金預託式



▲ 3月1日 奄美大島食肉センター開所式



▲ 4月1日 奄美市合同入社式



▲ 4月23日 奄美群島市町村議会議員大会

## 奄美・沖縄 世界自然遺産



### 第1回定例会

令和6年2月14日～3月26日

発行／奄美市議会  
編集／奄美市議会だより編集委員会  
〒894-8555  
鹿児島県奄美市名瀬幸町 25 番 8 号  
TEL : (0997) 52-1111  
FAX : (0997) 52-2815  
Eメール : gikai@city.amami.lg.jp

第1回定例会 一般質問 . . . . . P 2 ~ P 8

第1回定例会の主な議案 . . . . . P 9 ~ P 10

第1回定例会 常任委員会 . . . . . P 10

予算等審査特別委員会の審査概要 . . . . . P 11

あとがき . . . . . P 12

# 市政を問う

一般質問とは、議員が、市政全般にわたる施策の状況や方針などについて市の考えを問うものです。3月4日から7日の4日間で18名の議員が市当局に問い質しました。主な項目について、議員本人が質問と答弁を要約したものを紹介します。なお、紙面の都合により掲載できなかった内容は、録画配信で是非ご視聴ください。

1日目	2日目	3日目	4日目
1 奥 晃郎	1 正野 卓矢	1 永田 清裕	1 与 勝広
2 伊東 隆吉	2 栄 ヤスエ	2 盛 剛	2 大庭 梨香
3 帯屋 誠二	3 崎田 信正	3 泉 義昭	3 弓削 洋平
4 竹山 耕平	4 川口 幸義	4 幸多 拓磨	4 瀧 真一郎
5 朝木 一仁	5 西 忠男		

録画配信は  
こちら→  
(YouTube)



奄美市 議会録画配信

昨年11月19日、日曜日の午前中に実施した防災訓練は、地震・津波を想定したもので、自治会・集落の参加率は38%であった。令和4年度と比べて4.6%の減となっている。その原因として、敬老会や集落作業、その他の行事と重なったことが考えら

る。また、今回の訓練が津波の想定であったことから、比較的高台に位置する自治会・集落が訓練を見送ったのではないかと考えているところである。いずれにしても、災害はいつどこで起きるかわからないものである。各自自治会・集落での防災訓練への参加の重要性をより理解していただくための取組を行っていく一方で、より参加率を高めるための日時設定と事前の周知を早めるなど、日頃から役員の方々と疎通を図りながら実施して参りたい。

【その他の質問事項】  
◎市長の政治姿勢について  
◎奄美市における今後の人口確保対策、集落活性化対策について  
◎防犯灯（街灯）の整備について  
◎奄美市の入札参加資格格付けについて  
◎学校給食について



奥 晃郎  
自民党新政会  
（総務企画委員）

## 防災訓練

【その他の質問事項】  
◎市長の政治姿勢について  
◎奄美市における今後の人口確保対策、集落活性化対策について  
◎防犯灯（街灯）の整備について  
◎奄美市の入札参加資格格付けについて  
◎学校給食について

【その他の質問事項】  
◎市長の政治姿勢について  
◎奄美市における今後の人口確保対策、集落活性化対策について  
◎防犯灯（街灯）の整備について  
◎奄美市の入札参加資格格付けについて  
◎学校給食について

【その他の質問事項】  
◎市長の政治姿勢について  
◎奄美市における今後の人口確保対策、集落活性化対策について  
◎防犯灯（街灯）の整備について  
◎奄美市の入札参加資格格付けについて  
◎学校給食について



伊東 隆吉  
自民党新政会  
（文教厚生委員）

## 市長の政治姿勢及び 国民保護計画について

【その他の質問事項】  
◎市長の政治姿勢について  
◎奄美市における今後の人口確保対策、集落活性化対策について  
◎防犯灯（街灯）の整備について  
◎奄美市の入札参加資格格付けについて  
◎学校給食について



## 農業振興と市民生活について



帯屋 誠二  
無所属  
(総務企画委員)

**問** 市全域における休耕地の具体的な活用方法と施策について

**答** 農地面積の約17.3%に及び331.4ヘクタールの遊休農地に対し、調査把握と仕訳を行い、「農地中間管理機構」へ貸付を誘導したり、多面的機能支払交付金等による支援について、機構や国・県と協議を進めていく予定である。

**問** 下方地区の今後のまちづくりの在り方について

**答** 平松JMIコミュニティ用地的な活用については、①平松自治会集会所の機能も担う下方地区交流施設の整備予定地、②小宿地区における公共事業に伴う移転用地、③陸上自衛隊奄美駐屯地の隊員宿舎の整備予定地、以上の利用方針案となっている。小宿大川における堆積土砂については、県による

## 子ども医療費に伴う保護者の負担軽減を望む



竹山 耕平  
自民党新国会  
(文教厚生委員長)

**問** ひとりの親家庭医療費助成制度及び重度心身障がい者等医療費助成制度に係る保護者負担軽減に取り組むべき

**答** 重度心身障害者に係る医療費などは、令和6年7月から鹿児島県全体で自動償還払いが開始予定。ひとり親家庭医療費助成制度においては、病院受診の際に、一日窓口で医療費を支払い、別途医療機関等(薬局)の証明を受けた助成申請書の提出が必要で、市での審査を経て助成する仕組み。指摘の通り課題があると認識している。手続き等申請方法については、県内でも4市が負担軽減の改善に取り組んでいる。他市町村のメリット・デメリットを分析し今後検討したい。

**問** 子育て保健福祉複合施設の早期実現を望む

**答** 子育て保健福祉複合施設の早期実現を望む

**問** 平成31年の基本設計時の工事費が令和5年9月で10億円以上増加し、大幅な見直しが必要となっている。本事業が実施できるよう慎重に検討を進めている。

**問** 名瀬測候所移転後の跡地利用計画(構想)の早期実現を望む

**答** 建設中の名瀬第2地方合同庁舎完成後、11月頃には新庁舎での業務開始を予定。跡地の活用については、現段階において具体的な計画はない。中心市街地活性化に資する拠点施設として整備を検討してきたことなどを考慮し、新たな計画の検討を進める。

**問** 子ども達のランドセルを含む持ち物の重さの軽量を望む

**答** 児童生徒の携行品や通学カバン等への配慮については全ての学校で取り組んでいる。今後タブレットの持ち帰りによる重量の増加等も考慮しながら児童生徒の発達段階に適切に丁寧な対応を心がけていく。

## 観光行政について



朝木 一仁  
チャレンジ奄美  
(総務企画委員)

**問** 「奄美市世界自然遺産に関する新たな財源創設検討委員会」の設立経緯について

**答** 世界自然遺産登録されたことによる効果を最大化するために、昨年度設立の「世界自然遺産活用プラットフォーム」において、主要メンバーから法定外目的税導入の検討委員会設置が提案された。その背景としては、観光庁の「持続可能な観光推進モデル事業」として「環境文化協力金」の実証実験を昨年度中に実施していたことが上げられる。奄美大島の遺産価値を「人類共通の財産」として維持するため、地元自治体において求められる行政需要に恒久的に対応できる財源確保を幅広く検討すること目的に今年度当初から検討委員会を設立した。

行政関係、大学教授、奄美大島商工会議所、あまみ大島観光物産連盟、市議会からの推薦等9名で構成される。

**問** 具体的な目的(用途)や数値目標等は検討されているか

**答** 世界自然遺産価値を維持するという目的のもと、新年度から衛生費に計上し、環境保全事業や普及啓発事業に取り組む。遺産登録を契機に回復傾向にある来島者の満足度向上のための観光費や観光施設関連費等を想定して現在議論を進めている。これらの経費の近年の事業費平均は約4億円、一般財源平均は約1億4千万円程度であり、今後さらに増加することも想定される。今後は関連事業者への意見徴収やパブリックコメントの実施、総務大臣同意にむけた協議、課税開始までの説明会実施等が予想される。

【その他の質問事項】  
◎ナカドウチェス市との交流について

## 災害に強いまちづくり について



**正野 卓矢**  
チャレンジ奄美  
(総務企画委員)

**問** 情報の把握と発信について

**答** 情報の把握は、県システムからの通知や名瀬測候所とのホットラインなど様々な方法で行っている。しかしながら、遠隔地での火山噴火や地震については、どれくらいの影響があるのか予測が難しいこともあるため、近隣地域の状況も注意しながら情報収集に努めて参りたい。

**問** 防災教育について

**答** 防災出前講座や防災計画作成のためのワークショップ、本市政策アドバイザーによるセミナーなどを実施している。各学校における防災教育については、マイタイムラインを含め地域防災への参画意識を高めるような活動や、危機管理能力を高める活動に取り組んでいる。



**問** コミュニティサークルについて

**答** 少子高齢化が進む中、潜在的な需要が大きい高齢者等への対応は、将来を見据えた旅行需要の喚起、経済の活性化を図る上で重要である。すべての人が楽しめる旅行先となるよう受入体制の整備を図り、県や観光・福祉関係団体等との連携を強化していきたいと考えている。

**問** 新たな財源 休眠預金について

**答** 国としては、現段階では年間100億円程度を活用していく予定である。社会課題解決において多大な影響や効果のある活動も行われており、奄美市においても2022年度にNPO法人フリースクールMINEが採択を受け、現在活動を行っている。

## 福祉・安心安全。 教育行政について



**栄 ヤスエ**  
公明党  
(総務企画委員長)

**問** ヒアリングフレイル（耳の聞きとる機能の衰え）について

**答** 耳の「聞こえ」の力の衰え予防は必要である。市民の難聴に関する理解を深めるために、パンフレットの作成を検討している。

**問** 高齢者（65歳以上）の補聴器購入費助成について

**答** 国や県の動向を見て慎重に検討する。

**問** 女性に配慮した取組みとしてAEDと合わせて布を設置できないか

**答** 布やリフトレットの設置やその方法を検討する。

**問** 災害時における人とペットの同室避難について

**答** 避難所は、笠利と名瀬地区は施設を選定、住用地区は調整中である。自主防災組織「奄美大島ペッ

ト防災の会」等と連携し、避難所運営に取り組み。ペット避難用資機材については、他の自主防災組織と同様、補助金等を活用していただいている。

**問** 大や猫の適正な飼育方について

**答** 今年度は飼い犬のしつけ教室を開催した。飼い猫については猫の飼い方講座の開催や飼い猫の身分証「まやちゃんパーカード」の発行など、新たな啓発に取り組んでいる。



**問** 小規模校における特認校について

**答** 新年度は、知根小、小湊小、市小中を指定した。R6児童生徒予定人数

学校名	校区内	特認校	計
知根小	7人	1人	8人
小湊小	8人	0人	8人
市小	0人	0人	0人
市中	1人	0人	1人

## 住宅の住替え対策について



**嶋田 信正**  
日本共産党  
(文教厚生委員)

**問** 下佐大熊住宅の住替え対策について

**答** 今年1月12日に市営住宅住替え事務取扱要綱を制定した。今後下佐大熊住宅については、高齢者や障害者に限らずより多くの希望者の住替えができるよう努めたい。

**問** 補聴器購入費助成制度について

**答** 助成制度の実施自治体が年々増加していることは承知している。1718自治体のうち238自治体で実施している。将来的な財政状況を見通したうえで、国や県などの補聴器購入助成制度に対する動向などを注視し、慎重に検討する必要がある。

**問** 自衛隊への名簿提出について

**答** 令和5年度の情報提供は、年度末から翌年度始めに予定している。個人

情報の提供は自衛隊法施行令120条に基づき提出している。名簿の提供の除外申請について令和6年3月号の奄美市だよりで周知した。申請により名簿から除外の対応をする。

**問** つながる相談室の実績と評価は

**答** 1月末までの相談実績は3829件で、うち新規相談件数は832件。相談者の尊厳を守り、本人の意思を尊重しながら、生活を立て直し、横断的に継続した支援となるよう庁内外の関係機関とも連携を図りながら取り組んでいく。

**問** 介護従事者の人材確保と処遇改善について

**答** 介護人材不足は喫緊の課題となっていることから、第9期奄美市高齢者保健福祉計画及び介護保健事業計画で、施策の柱の1つとして位置づけている。

## 市長の政治姿勢について



**川口 幸義**  
自民党新政会  
(総務企画副委員長)

**問** 特定地域づくり事業について

**答** 特定地域づくり事業協同組合「奄美市しまじゅく協同組合」は、昨年4月の設立後、7月から求人活動を開始し、現在職員5名を雇用し、組合員である加入事業所へ派遣しているところである。組合員は8社で、その業種は宿泊業、飲食サービス業、観光サービス業、イベント企画業、インターネット付随サービス業、社会保険労務士事務所と多岐に亘っている。

**問** 教育行政について、住用町青久地区石積み防波壁の文化財指定について

**答** 住用町青久地区にある「青久の防波壁」は、米軍占領統治下の1950年から日本復帰後の1955年まで継続された公共事業において、高潮対策として造られた総延長2

## 血液製剤備蓄所の再設置について



**西 忠男**  
チャレンジ奄美  
(文教厚生委員)

**問** 外国資本による奄美市の土地取引の情報把握しているか

**答** 一定面積以上の大規模な土地取引に関しては、市を通して県に届け出る必要がある。直近3年間の本市内の届出においては、当該届出を行った法人等は全て国内に住所のあるものであった。しかし当該届出法人等の資本が国内外いずれかであるかは、本届出では把握することができないところである。

**問** 血液製剤備蓄施設の再設置について

**答** 血液製剤備蓄所がなくなつたことによる番の課題は、島内の病院内での在庫確保には限界があり、県本土からの輸送には時間がかかるため血液製剤の安定供給体制へ支障があるといつておられる。血液製剤供給体制検討会

## 市長の政治姿勢や医療体制について



**永田 清裕**  
自民党新政会  
(産業建設委員)

**問** 新年度の重点取り組み

**答** まず、「産業全体における労働力の確保」と「住宅確保」に取り組み。具体的には奄振交付金を活用した「働き手不足解消に向けた「移・職・住」総合対策事業」等を推進することと課題解消に繋げる。次に「子育て支援」の充実。新年度からは新たに「重点政策推進監」を配置し、スピード感をもって山積する重要課題に組織横断的な対応を進める体制を整備する。

**問** 小浜保育所の再整備

**答** 再整備の必要性については庁内で共有している。再整備までの改修については施設の老朽化に伴う課題があると十分認識している。子ども達や働く人達の安全安心に影響を及ぼすことのないよう、補修・修繕などを行う。

トイシや給食室など応急的な対応が必要なものは現場の声を伺いながら対応する。

**問** 医療体制の維持へ

**答** 「奄美保健医療圏地域医療構想調整会議」において本市の現状を伝えるとともに意見を提出している。島内5市町村をはじめ、大島郡医師会や県などと情報共有しながら医療体制の充実について考えたい。

**問** 血液製剤備蓄所の再設置

**答** 令和3年5月から「血液製剤供給体制検討会」で血液製剤備蓄所について協議している。これまで奄美市議会をはじめ、多方面から日本赤十字社への要望がなされている。市民の生命を守るためには血液製剤備蓄所の再構築が必要であると捉え、今後も奄美大島5市町村や関係機関等と連携しながら取り組む。

**【その他の質問事項】**

◎奄美・沖縄の交流促進事業

## 防災対策全般について



**盛剛**  
無所属  
(産業建設委員)

**問** 大型台風、ゲリラ豪雨などによる山地災害防止対策・砂防堰堤は万全か

**答** 「奄美市地域防災計画」を作成している。防災ハザードマップを全世帯に配布し、インターネットからも閲覧可能である。砂防事業は事業主体が県となり、現在の実施区域は名瀬地区4地区、住用地区1地区、屋万田原と和光園小川は現地調査や設計等に着手している状況。

**問** 無電柱化について

**答** 防災・景観の観点から課題として認識している。

**問** 消防について

**答** 防災対策の観点から、消防組織の充実、消防団員の育成等計画的に実施して対応したい。

**問** 大島紬の振興対策について、全盛期の売上と現在の売上の推移、衰退し

た原因、紬振興対策として奄美市が実施している事業は

**答** 生産額（売上金額のデータがないため）の推移は表のとおり。

S38	26億8,559万2千円
S50	218億1,980万9千円
S60	213億7,723万3千円
H7	50億2,729万円
R5	2億3,063万円

落ち込んだ二因はオイルショック以降購買力の減退、生活環境の変化に伴い和装離れが加速したこと。振興策として紬の日を制定、後継者育成事業や購入費助成事業等を実施している。

**問** 延長奄振法の主な改正項目は

**答** ①5カ年延長、②目的に「移住の促進」が追加され空き家等の活用が図られる、③「沖縄との連携」が盛り込まれ、人流・物流の活性化を支援する。

## 農水産業・市営住宅敷地・市公社施設について



**泉義昭**  
奄美空誠会  
(産業建設副委員長)

**問** さとうきび受託作業補助金について

**答** さとうきび振興対策協議会からの受託作業手数料の1トン当たり5500円の補助金は、今後の状況を見ながら対策協議会で検討する。

**問** ドローン活用で労力軽減と作業短縮を図れないか

**答** ドローンの活用については、5年度に笠利地区において薬剤散布の試験を関係者と視察をしたところだが、圃場周辺の他農産物への飛散被害等の懸念事項もあり、振興対策協議会で検討する。

**問** 老朽化市営住宅地有効活用について

**答** 市営住宅として廃止された敷地は、建物解体後に所管替をして売却を検討してきた。現在ところ笠利町赤木名で、ベンチ・遊具等を公園施設に

## 公共施設の維持管理。防災ラジオの普及。不登校支援



**幸多拓磨**  
チャレンジ奄美  
(文教厚生副委員長)

**問** これからの公共施設の維持管理について

**答** 建物の公共施設の現状としては、令和2年度の調査では、本市は512施設を保有しており、鹿児島県下19市で比較すると、市民一人当たりの延床面積は県内で最も多い状況となっている。その半数を超える55%の施設が建築から30年以上経過しており、維持管理や修繕・回収にかかる経費は年々増加している現状。施設集約や統廃合を念頭において取り組むこと、そして建設コストだけではなく、完成後のランニングコストもしっかりと考慮した施設計画を検討していくことが最も肝要であると考えている。

**問** 各家庭への防災ラジオの普及について

**答** 現在、難聴地域や戸別受信機の無い防災拠点・

避難施設への配布の他、戸別受信機の故障交換機として、運用しているところである。今後、その運用状況を見ながら継続・導入台数について、検討を行っていく。

**問** 不登校支援の状況について

**答** ふれあい教室の令和5年度の累計通室人数は、現在までに小学生8人、中学生7人、計15人となっている。コーディネーター1人と教育相談員1人が、平日午前9時から午後3時まで教室を開設、通室生の状況に応じて学習を進めている。また本市はNPO法人フリースクールMINEと連携しており、本市の小学生8人、中学生6人の児童生徒が利用している。今後「休むことの必要性」や「学校以外の学びの場」の重要性について普及し児童生徒が誰一人取り残されない学びの保障を指し、学校への復帰を目指す不登校支援を行っていく。

# 市長の政治姿勢について



与 勝広  
公明党  
(産業建設委員)

**問** 2024年度当初予算における奄美市としての最重要施策はなにか

**答** 1点目は新たに策定した本市未来計画において1丁目1番地として位置付け、施政方針でも掲げている「子育て支援」である。具体的には、子育て・子育て環境の整備として「任用・有利地区認定」も園整備事業」に本格的に着手するほか「第3期子ども・子育て支援事業計画」を策定し様々な一ズに対応した各種施策を連動させ、総合的かつ有効的に展開していく。また「未来応援はぐみプロジェクト」を引き続き実施し、不妊検査や治療等に関する出産から子育てまでの一体的な支援を充実させるほか、令和5年度に実施した「子ども家庭生活実態調査」の結果を分析し、関係団体等

官民一体となって、地域の実情に応じた子ども対策等について検討を進めていく。

次に2点目は、稼ぐ力稼ぐ地域づくりに向けた「労働力確保」と移住促進も捉えた「住宅確保」の取り組みである。具体的な取組として「空き家解消による住環境総合対策事業」として宅建協会や地域と連携した空き家調査、空き家の市場流通危険空き家の除去を促進することにも、令和6年度には空き家対策を担う「地域おこし協力隊」を採用し、地域における実態調査や課題解決に向けて取り組んでいく。

令和6年度からは、新たな未来の奄美市づくり計画に掲げる「へらり」しごと「つながり」を融合させ、各種施策をより一層連携させながら取り組んで参りたい。

# 福祉行政について



大庭 梨香  
公明党  
(文教厚生委員)

**問** 带状疱疹ワクチンについて①効果について②周知と接種について③相談件数及びその内容④助成についての今後の方向性

**答** ①厚労省は、带状疱疹ワクチンによって発症に加え個人の带状疱疹後神経痛の発症を予防することができると示した一方、今後とも検証していくとのこと。本市においても国の検証などから一定の効果については認識している。②周知、広報を行っている。③月に1〜2件助成を行っているか確認の問合せがある。④接種者の見込みや医師会と連携体制の構築などを含めて前向きに検討していく。

**問** 更年期ケアの推進について①女性活躍・男女共同参画の重点方針（女性版骨太の方針2023）における企業健診に係る追加内容②更年期症状・

障害に関する調査③働く女性からの月経等についての相談の有無やその内容④理解や治療普及の必要性、市民への啓発及び相談体制等⑤市役所職員への対応や相談体制

**答** ①事業主健診に係る問診において月経困難症等の女性の健康に関する項目を追加し、充実を図ることが定められている。追加を検討し取り組みを推進していく。②更年期に関する知識を良く知っていると回答した女性の割合は20〜30歳代で2割、40歳代4割、50歳代以降5割。男性は各年代1割（60歳代のみ2割）。更年期に入る前に欲しかった情報は症状や対処法について。③知識普及に努め、わかりやすい相談窓口の周知を実施。④相談を受ける体制の整備が必要。⑤今後、女性特有の健康課題への理解促進と健康診断による生活習慣病の予防、早期発見体制作りなど職場環境の整備に取り組む。

# 産業振興について



弓削 洋平  
チャレンジ奄美  
(産業建設委員長)

**問** 「食と農の総合戦略」における農業・水産業に係る協議会の設立について

**答** 「食と農の総合戦略」の推進母体となる協議会の設立を行い、「健康長寿の促進、食文化の承継や観光との連携に取り組み、あわせて島野菜の増産、島豚や地元産水産資源の有効活用などに取り組み活動」の推進を行う。今後は、このような計画の発展を図ることや協議会設立に向けた検討を深めることで、総合戦略策定に関する準備を進める。

**問** 漁礁設置の効果と現制度での可能性について

**答** 奄美大島海区には現在85箇所の設置があるが、効果検証といったところはなされていない。現行補助事業内において、簡素に設置できる漁礁の可能性については、「離島漁

業再生支援事業」による各漁業集落の実施計画に適切に盛り込むことにより、認められる可能性がある。ただし、設置する場合には、奄美大島海区漁業調整委員会及び海上保安部による協議及び承認を得る必要がある。漁礁設置の推進については、その必要性について慎重に考慮しつつ、適切な計画策定と協議・承認により設置が出来るよう、各漁業集落の皆様方と、今後検討を深める必要がある。

**問** 平田町ループ橋の街灯について

**答** 街灯は31基あり、令和6年2月下旬時点で不点灯のものを7基確認している。灯具や配線など原因を調べたうえで、修繕していく。

【その他の質問事項】

- ◎農業政策の現状と課題について
- ◎学校の統廃合について
- ◎線状降水帯による被害について

# 「未来の奄美市づくり計画」について



**瀧 真一郎**  
無所属  
(総務企画委員)

**問** 「未来の奄美市づくり計画」の位置づけの確認と実施計画について

**答** この計画については「シンプルでわかりやすい」計画を目指すための大きな柱として位置づけ、市民・企業団体・行政の行動指針を分かりやすく整理している。現時点では、実行計画については策定の検討に至っていない。

**問** 本計画での人口推移目標値の考え方と具体的な目標値について

**答** 「国勢調査に基づく将来推計人口を上回っていること」を指標として設定。理由は、この値が科学的根拠に基づき試算されていることから、取り組み効果を確認する参考指標として妥当だと考えている。具体的な目標人口については、「奄美大島人口ビジョン2020」内

で示した、奄美大島全体で2060年の将来目標人口5万2600人と認識。奄美大島5市町村の総合計画も加味した上で「奄美市『攻め』の総合戦略2020」の見直しと併せて議論している。

**問** カーボンニュートラル2050達成に向けての現状と今後の方向性について

**答** 本市の事務事業に限定した温暖化防止実行計画事務事業編の対応を昨年度まで実施。現時点で数値フォローアップはできていないが、今年度末までに目標値精査含めた計画を策定。

**問** グリーンカーボン・ブルーカーボンへの奄美市としての対応について

**答** 奄美市としてはこれまで取り組み事例は無いが、現在策定中の計画内へ施策として織りこめるよう農林水産部と連携してすすめる。

## 奄美市議会報告会

奄美市議会では、開かれた議会を目指して市民の皆さまに議会の活動状況をお知らせし、ご意見を市政に反映させるために議会報告会を実施しています。

令和5年度の議会報告会は2月6日（火）に市内3か所で開催いたしました。皆さまからの貴重なご意見は市当局へしっかりお伝えするとともに、今後の議会活動の参考とさせていただきます。



▲ 名瀬会場  
(幸多 拓磨、伊東 隆吉、西 忠男、叶 幸治、永田 清裕、帯屋 誠二、瀧 真一郎、川口 幸義)



▲ 住用会場  
(竹山 耕平、大庭 梨香、盛 剛、与 勝広、弓削 洋平、正野 卓矢、奥 輝人)



▲ 笠利会場  
(前田 要、崎田 信正、泉 義昭、多田 義一、朝木 一仁、栄 ヤスエ、奥 晃郎)

## 令和5年度 第2回奄美市議会議員研修会

奄美市議会では、議員の資質向上のために毎年研修会を実施しています。

3月8日には、10代ならではの視点を活かして活動されている島の学生団体「Annacoto (アannaコト)」のメンバー3人をお招きし、「Annacoto の活動紹介と復帰70周年の節目で感じたこと」をテーマとしたプレゼンテーションと、議員との意見交換を行っていただきました。



▲元平 結凧さん



▲城 音羽さん



▲安田 琉夏さん



## 第1回定例会の議案

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
	専決処分の報告について（専決第2号 市営住宅明渡し等請求に関する訴訟の提起について）		
報告第1号	専決処分の報告について（専決第1号 和解及び損害賠償の額を定めることについて）	承認	本会議
議案第1号	令和5年度奄美市一般会計補正予算（第9号）について	原案可決	本会議
議案第2号	奄美市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	本会議
議案第3号	令和5年度奄美市一般会計補正予算（第10号）について	原案可決	全委員会
議案第4号	令和5年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）について	原案可決	文教厚生
議案第5号	令和5年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第4号）について	原案可決	文教厚生
議案第6号	令和5年度奄美市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について	原案可決	文教厚生
議案第7号	令和5年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）について	原案可決	文教厚生
議案第8号	令和5年度奄美市と畜場特別会計補正予算（第3号）について	原案可決	文教厚生
議案第9号	奄美市ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第10号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	総務企画
議案第11号	奄美市過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決	総務企画
議案第12号	令和6年度奄美市一般会計予算について	原案可決	一般会計
議案第13号	令和6年度奄美市国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第14号	令和6年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第15号	令和6年度奄美市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第16号	令和6年度奄美市介護保険事業特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第17号	令和6年度奄美市訪問看護特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第18号	令和6年度奄美市と畜場特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第19号	令和6年度奄美市交通災害共済特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第20号	令和6年度奄美市水道事業会計予算について	原案可決	特別会計
議案第21号	令和6年度奄美市下水道事業会計予算について	原案可決	特別会計
議案第22号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第23号	奄美市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第24号	奄美市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第25号	奄美市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第26号	奄美市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第27号	奄美市重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第28号	奄美市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	特別会計
議案第29号	名瀬都市計画事業平田土地区画整理事業施行に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第30号	名瀬都市計画事業末広・港土地区画整理事業施行に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第31号	奄美市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第32号	奄美市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第33号	奄美市任期付市費負担教職員の採用、給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第34号	奄美市給水条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	特別会計
議案第35号	奄美市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	特別会計
議案第36号	奄美市総合計画の策定について	原案可決	一般会計
議案第37号	教育委員会委員の任命について	同意	本会議
発議第1号	不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書の提出について	原案可決	本会議

請願・陳情の状況

受理番号	件名	提出者	議決結果	付託委員会
陳情第1号	川内原発20年延長に関する陳情書	荒田 まゆみ	不採択	総務企画
陳情第2号	奄美群島内の空港・港湾の「特定利用空港・港湾」指定に反対する陳情書	奄美の自然と平和を守る郡民会議 議長 富 さつき	不採択	総務企画
令和5年 請願第4号 (前議会からの 継続審査事件)	「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める請願書	かごしまこども学び場友の会 奄美支部 西田 梢 特定非営利活動法人フリースクール MINE 理事 林 花穂	採択	文教厚生

賛否が分かれた案件

議案番号・件名	議員名(議席番号順)																	【○賛成数】	【●反対数】						
	朝木一仁	西忠男	帯屋誠二	瀧真一郎	正野卓矢	弓削洋平	幸多拓磨	大庭梨香	叶幸治	盛剛	前田要	泉義昭	永田清裕	崎田信正	奥輝人	多田義一	栄ヤス工			与勝広	奥晃郎	伊東隆吉	竹山耕平	川口幸義	
陳情第1号 川内原発20年延長に関する陳情書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	-	●	●	●	●	●	●	●	1	20	
陳情第2号 奄美群島内の空港・港湾の「特定利用空港・港湾」指定に反対する陳情書	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	-	●	●	●	●	●	●	●	●	3	18	
議案第16号 令和6年度介護保険事業特別会計予算 議案第28号 介護保険条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	19	1
議案第20号 令和6年度奄美市水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	19	1

賛否が分かれた案件を議員ごとに掲載しています。(○は賛成・●は反対)  
\*奥輝人議員は議長職のため、表決権はありません。

# 第1回定例会 常任委員会

【文教厚生】 2月15日  
【産業建設】 2月16日  
【総務企画】 2月19日

左記の日程で議案について審査しました。委員会の審査について一部ご紹介いたします。

## 文教厚生委員会

令和5年度奄美市一般会計補正予算(第10号)

**問** 住民税非課税世帯生活支援特別給付金(1世帯3万円給付事業)の給付について

**答** 給付率は96%、残り4%は辞退による未申請や単身死亡、修正申告等により課税、遡り転出などによる対象外の世帯となっている。

**問** 離島留学推進事業(奄美くろくさき留学)の現状について

**答** 留学の問い合わせは令和5年度分31件、令和6年度分12件となっている。しかし里親が確保できず受け入れられない状況にある。責任の重さが里親のなり手不足の要因の一つと考えられるため、準里親、孫戻しなど負担軽減策の検討をしていきたい。

## 産業建設委員会

令和5年度奄美市一般会計補正予算(第10号)

**① 廃止路線代替バス等運行事業費補助金 1,625万6千円増額**

【当局の説明】 住民の生活路線の確保を図るため、市がバス事業者に運行を委託する路線の赤字補填分を補助金として交付するもの。補助金額の確定(5125万6千円)による増額。  
【委員】 市として補助する以上は利便性の高いサービスが提供できるよう、市民の意見を聴き、市が事業者に対してしっかりと意見を言えるような関係性の構築を。

令和5年度奄美市一般会計補正予算(第10号)

**② 笠利農村環境改善センター改修工事 1,559万3千円減額**

【当局の説明】 今年度大規模改修が完了し、事業費確定に伴う減額である。  
**問** 具体的にどこが改善されたか  
**答** 室内が土足で入れられるようになり、ホルルの椅子が固定式になった。また、電気(LED化)や空調設備の更新を行った。

## 総務企画委員会

令和5年度奄美市一般会計補正予算(第10号)

**問** 危険空き家等除却助成金の状況について

**答** 当初予算では、10件の申請を見込んで300万円を計上した(1件あたり上限30万円)。助成対象となった11件のうち3件が申請を取り下げたため、最終的に8件で210万円の助成金が交付される予定。

川内原発20年延長に関する陳情書 ▼不採択とすべきもの

【委員からの主な意見】  
○原子力委員会が厳格に調査研究をしている。  
○知事も原発延長については容認をしている。  
○陳情の主旨は理解するものの、我が国の経済への影響も考える必要がある。

# 令和6年度 予算等審査特別委員会

【一般会計】 3月11日・13日・14日・15日 【特別会計】 3月11日・13日  
上記の日程で議案について審査しました。事業や議案について一部ご紹介します。

## 一般会計

321億8,269万1千円（前年度比3.4%増）

予算案及び条例改正等の議案 13 件を審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

### 空き家解消による 住環境総合対策事業

1,224万4千円

外部人材と連携し、空き家の調査、市場流通、危険空き家の除却促進、危険家屋発生抑制に向けた啓発を実施する。

### 地域共創による高校みらい コンソーシアム事業

300万円

地域の官民及び集落、中学校等との連携による産学官共同体を設立し、高校・地域の魅力向上に取り組む。

### こども対策検討事業

115万8千円

令和5年度に行った「子どもの家庭生活実態調査」を基に分析し、関係団体で今後の子ども対策等について検討し、具体的な事業化へ結びつける。

### 地域公共交通計画策定事業 負担金

881万円

奄美大島5市町村で一体となって地域公共交通計画を策定する。

### 航空・航路運賃軽減事業 負担金

9,355万2千円

離島住民に対する運賃軽減事業。令和6年度から沖縄路線を対象とした運賃割引も実施。

### 書かない窓口導入事業

241万5千円

マイナンバーカード等を利用して、申請書に氏名等の情報を印字することで、署名などの最小限の記入のみで、市民の負担軽減を図る。

## 「奄美市総合計画」の策定

未来の奄美市づくりに向けて、市民、企業・団体、市役所が一丸となって、奄美市の課題解決と持続的な成長を実現するための、大きな方向性を占めず計画。

計画期間= 15年間（令和6年度～令和20年度）

## 特別会計

予算案及び条例改正等の議案 12 件を審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

国民健康保険事業特別会計予算 52億2,343万5千円

国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算

3億1,314万円

後期高齢者医療特別会計予算 6億7,101万3千円

介護保険事業特別会計予算 51億9,981万2千円

訪問看護特別会計予算 3,045万7千円

と畜場特別会計予算 3,320万4千円

交通災害共済特別会計予算 529万9千円

奄美市水道事業会計予算 \*23億4,821万4千円

奄美市下水道事業会計予算 \*34億9,114万9千円

(\* 収益的収入と資本的支出の合計額)

### 国民健康保険事業特別会計予算について

問 レセプト点検人員の減について

答 マイナンバー保険証や電子カルテの普及に加え、被保険者の減が見込まれるため。

### 国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算について

問 笠利診療所の診療報酬が増えている要因について

答 後期高齢者の利用が増えたほか、ターミナルケアの患者を自宅に戻して往診での対応もしていることなどがある。

### 奄美市介護保険事業特別会計予算について

問 介護保険料の増額について

答 高齢者人口のピークの想定が令和7年頃と見られる中、介護認定者増加によるサービス給付費の増額予想や介護報酬改定を勘案した結果、基準額で200円の増加となった。

### 奄美市水道事業会計予算について

問 水道管路耐震化の更新事業について

答 令和5年度から5年間で佐大熊地区から金久中学校前の県道沿い2,011メートルを耐震化する事業を計画している。令和6年度は、入舟町から矢之脇町付近の405メートルを整備予定である。

## 議会の動き

### 【2月】

- 1日 横浜DeNAベイスターズ歓迎セレモニー
- 2日 議会だより編集委員会
- 5日 能登半島地震義援金預託式
- 6日 議会報告会（名瀬・住用・笠利）
- 7日 全員協議会
- 8日 議会運営委員会
- 11日 ほこらしや奄美音楽祭
- 14日 全員協議会，議会運営委員会，  
会派代表者会
- 15日 文教厚生委員会
- 16日 産業建設委員会
- 18日 奄美市美術展覧会，  
笠利地区生涯学習講座閉講式
- 19日 総務企画委員会
- 20日 本会議，全員協議会
- 27日 奄美群島市町村議会議長会

### 【3月】

- 1日 奄美大島食肉センター開所式
- 4日 一般質問（～7日），会派代表者会
- 8日 本会議，議会運営委員会，議員研修会
- 10日 関西奄美会総会並びに芸能大会，  
奄美市まなびフェスタ
- 11日 予算特別委員会  
（13日・14日・15日）
- 21日 かごしま国体実行委員会総会
- 26日 最終本会議，全員協議会，  
会派代表者会，大島郡町村議会議長会  
議長・事務局長合同会
- 28日 開発公社評議員会

### 【4月】

- 1日 奄美市合同入社式
- 11日 大浜海浜公園「海開き」
- 12日 奄美市転入教職員合同着任式
- 15日 議員研修会，全員協議会，  
政策立案会議
- 18日 鹿児島県市議会議長会定期総会
- 21日 近畿笠利会交流会
- 23日 奄美群島市町村議会議員大会
- 25日 九州市議会議長会理事会・定期総会
- 26日 鹿児島県市町村連携会議
- 30日 議会だより編集委員会

## 市議会だより

## 編集委員会

【委員長】 奥 晃郎  
 【副委員長】 帯屋 誠二  
 【委員】 朝木 一仁  
 大庭 梨香  
 前田 要  
 崎田 信正

## 第2回定例会の予定

### 令和6年6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
		開会	一般質問			
23	24	25	26	27	28	29
	一般質問	本会議	常任委員会			
30						

### 令和6年7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
					最終 本会議	
7	8	9	10	11	12	13

## 「議会をご覧になりませんか」

議会では、市民生活に関係のある重要な問題が審議されています。  
 議会を傍聴して、市政の動向や皆さんが選んだ議員の活動を間近でご覧になれます。

### 「傍聴」

事前連絡は不要です。  
 奄美市役所名瀬庁舎8階  
 にお越しください。

### 「議会中継」

議会の様子を  
 インターネットで  
 生中継しています。

## 編集あとがき

『シマ』の困ったことを少しでも減らせるよう、日々の活動を始めて半年ほどが経過いたしました。本会議期間中は勿論のこと、毎日が勉強であり新たに気づかされることの多い毎日です。色々な文献や書物を参考に調べる（基俊太郎著）という本がありました。その一節に『シマは生きていた』という項があります。そこでは奄美の社会を人体の血液循環に例えており、現代医学でいうところの心臓はシマ（地区・集落）であり、行政は心臓ではなく、人体へとつながる血管ではないかと述べられています。活力が溢れる地域と、幅広く緊密に繋がる行政が両輪となれば、市民生活の向上と活性化となり『奄美市に住んで良かった』と言えるようになるのではないのでしょうか。これからの任期中は地域を活性化させる『血液』の一人となって、奄美の活力向上に尽力して参ります。

【帯屋 誠二】